

気候変動に対する 緩和策・ 適応策

気候変動は世界的にさまざまな影響を引き起こしており、毎年大規模な気象災害が頻発するとともに、気温上昇による熱中症の増加など、多くの悪影響が報告されています。気候変動には、緩和策と適応策の両面から対応を進めていくことが必要となっており、UR都市機構においてもさまざまな対応を実施しています。

▶ 本報告書で取り上げている活動報告のうち、緩和策・適応策の該当事例に
緩和策 適応策 マークを付けています。

緩和策

気候変動を引き起こす原因となるCO₂排出量の削減やCO₂吸収源(樹木等)の増加を図ることを言います。

UR都市機構が実施している緩和策の例



CO₂ 排出量の削減

シェアサイクルポートの設置→P.58



CO₂ の吸収

印象樹木の移植保全など→P.44

UR都市機構が実施している適応策の例

適応策

気候変動による悪影響にあらかじめ備えておくことで、影響を回避・軽減することを言います。



雨水流出抑制

雨水貯留槽の設置→P.52



事前防災

地域関係者への防災セミナー→P.54